

WEEKLY REPORT

2024-25年度
国際ロータリーのテーマ

事務局：460-0003

名古屋市中区錦1-13-19
名錦ビル7F

TEL：052-211-3803

FAX：052-211-2623

MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp

URL：http://www.mizuho-rc.jp/

創立：1980年(昭和55年)1月10日

会長：大嶽 達郎

幹事：近藤 茂弘

クラブ広報委員：今川 知也

例会日：毎週木曜日 PM12:30～

会場：ヒルトン名古屋

2024-25年度

名古屋瑞穂ロータリークラブ

会長のテーマ

「瑞穂ロータリーを考えよう」

～より良い瑞穂ロータリーのために～



第2104回例会

～基本的教育と識字率向上月間/ロータリーの友月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2024年9月5日(木) 晴 第8回例会

司会：加藤直大 会場委員
斉唱：「君が代」「奉仕の理想」
ゲスト：名古屋市立大学大学院医学研究科医学部先進急性期医療学
部長・教授 服部友紀先生

会長挨拶

大嶽達郎会長

皆様こんにちは。先週の親睦例会は台風の影響で残念ながら中止になりました。休会もあり、約一か月ぶりの例会になります、お久しぶりです。



来週9月9日の月曜日は、福岡西ロータリークラブさんのお月見例会があります。総勢20人で行ってまいります。私は去年行けなかったので、5年ぶりのお月見例会です。大変楽しみにしております。

また、その前に明日、甲子園球場にて野球同好会の試合があります。福岡西ロータリークラブさんとの試合です。両クラブの世話役の皆様のご苦勞により、実現できたと思います。ありがとうございます。前夜祭に出られる方は、この例会の後すぐ出発されるということです。私も、応援部隊で明日合流いたします。

今日は、その甲子園球場について調べましたので、少しお話しいたします。高校野球の夏の甲子園は今回が「106回大会」そして、甲子園球場は開場「100周年」ということです。甲子園の前は「豊中球場」と「鳴尾球場」で高校野球が行われていました。

甲子園のモデルとなった球場は、元ニューヨークジャイアンツの本拠地として使われていた、ニューヨークの「ポロ・グラウンド」という球場で、この球場の図面を基に東洋一大きい球場を作ろうと、甲子園が建設されました。

工事期間は4カ月半という驚異的な速さで造られました。甲子園球場の場所が、もともと川があったところに造られた球場で、コンクリートの材料となる砂利や砂などが豊富だったからということ。その後、何度も改修が行われ、現在のスタンドは、一層式の収容人員約43,000人です。

また、甲子園という名前の由来は、開場した年に関係しています。子丑寅卯という十二支と、甲乙丙丁の「十干」(じっかん)というものがあります。この十干と十二支を組み合わせることで暦の「干支」(えと)を表すことができますが、この甲子園が誕生した1924年がそれぞれの最初にあたる「甲」と「子」が60年ぶりに出会う縁起のよい年だったことから「甲子園」と名付けられたということです。

会場100周年、記念グッズもいろいろ売っているということで、買ってこようと思っております。今日まで甲子園球場では阪神×中日戦をしており、プロ野球の福岡ソフトバンクはぶっちぎりの首位、我ドラゴンズは情けない限りですが、そのうっぴんを明日の試合にぶつけて、練習も出ていない私がいうのもおこがましいですが、是非勝利しましょう！私も一生懸命応援いたします。

出席報告

鈴木雄三 出席委員

会員68名 出席51名 (出席計算人数57名)

出席率 79.69%

ニコボックス

鈴木雄三 ニコボックス委員

- ・ 今回のハワイのゴルフツアーでは、岩田、関谷、田中、村上、堀、本多、今川各位に大変お世話になり、また、ご迷惑をおかけしました。連日楽しいゴルフと最高に美味しい食事やワインを堪能し、至福の旅でした。皆さんありがとうございました。心より感謝申し上げます。 **野崎 洋二さん**
- ・ 9/2にぎふ美濃GCにてプロアマチャリティを開催しました。プロ45名、アマ170名の参加をいただきました。協賛いただきました皆様、参加いただきました皆様、ありがとうございました。東日本大震災の子供達に20～30万寄付できそうです。感謝!! **内田 久利さん**
- ・ 9/20は私の77才の誕生日です。 **近藤 雄亮さん**
- ・ ひばり荘ボウリング大会へ寄付します。 **宮崎 信次さん**
- ・ 服部先生、本日卓話よろしく願います。明日の甲子園勝ちましょう!! **岡部 光邦さん**
- ・ 鳥山さん、先日はありがとうございました。お世話になりました。 **森 裕之さん**
- ・ 野崎さんはじめ、同行の皆様、大変お世話になりました。初めてのハワイ大変楽しく過ごすことができました。 **本多 誠之さん**
- ・ 甲子園に行ってきます!! **鈴木 淑久さん**
- ・ 野球部の皆様、明日の甲子園頑張ってください。 **加藤 直大さん**
- ・ 9月6日アツタナガヤオープンです。花井さん、田中さんおめでとうございます。 **小栗 栄治さん**
- ・ 甲子園頑張ります。 **今川 知也さん 杉江 建亮さん 長野 義明さん 横山 請悟さん**

幹事報告

近藤茂弘幹事

- ・ 9/5 (木) 熱田RAC例会
19:30分～ 20:30分ウインクあいち1204
担当: 萩原さん・横山さん
- ・ 9/9 (月) お月見例会受付17:00～例会17:30～
場所: 西鉄グランドホテル2階「プレジール」
会費: 12,000円
二次会 幹事近藤茂弘
場所: NARITA 福岡市博多区中洲1-2-5-5 中洲第一ビル1F
※貸切 ※タクシー移動予定 会費: 15,000円
- ・ 9/12 (木) R規定により休会
- ・ 9/19 (木) リスペクト例会 12:30～ ヒルトン4F「桜の間」

委員会・同好会報告

親睦活動委員会

先ほど会長からご連絡がありました、台風で取りやめになりました前回の親睦例会ですが、こちらの予算に関しては、理事会の方で協議して皆さんの親睦活動費に使っていただきたいと考えております。ご了承のほどお願いいたします。

親睦活動委員会

先日、FAXを送らせていただきました、10月12日に児童養護施設ひばり荘の児童たちと、職員の方をお連れしまして、ボーリング大会とバーベキューのご案内をさせていただきました。瑞穂ロータリーとして社会奉仕のイベントの一つとして捉えておりますので、会員の皆さん、多くのご参加をお待ちしております。今回は蓬菜軒さんと、まぐる屋さんが食品の提供をしていただけたことで盛り上がると思いますのでどうか、アンケートに出席を書いていただいでFAXいただけると助かります。よろしくお願いたします。

野球部会

本日、これから甲子園に向かい、前夜祭を行います。明日12時から福岡西RCとの試合となります。ご参加の方はLINEに予定表お送りしておりますのでご確認ください。紙で欲しい方は、ご用意しておりますのでお越しください。現在ドラゴンズは低迷しており、今年一度も甲子園で勝っておりません。瑞穂ロータリークラブが名古屋の代表として風穴を開けたいと思っております。よろしくお願いたします。

9月誕生日おめでとう

関谷 俊征さん 鈴木 淑久さん 加藤 直大さん
原田 敬生さん 大嶽 達郎さん 杉山 裕一さん
近藤 雄亮さん(名誉会員)

卓話

名古屋市立大学大学院医学研究科先進急性期医療学・救急科 服部友紀 先生

平成6年に名古屋市立大学を卒業して30年が経過します。麻酔科医・集中治療医として医師人生をスタートさせて、救急医として20年以上経過し、2015年から名古屋市立大学病院の救急医療を担う者として現職を継続させていただいています。



現在、名古屋市立大学病院では「救急災害医療センター」を建設中で、(予定より遅れていますが)令和8年度春に開院します。これまで救急医として救急医療の現場で様々な経験をしてきましたが、今回の卓話では私が現場診療で感じたことや我々救急科が今後向かう理想の救急医療について話します。

実際の救急疾患への対応事例

①土砂災害による生き埋め状態から救出された事例:

現場出動医師が救出直後から対応し途中から治療を引き継いだ。左下肢を10時間程度土砂(崩れた家の木材)に挟まれた状態で運動麻痺と感覚障害の状態であった。

意識朦朧と頻脈、血圧測定できないショック状態であった。クラッシュ症候群と診断し、受傷肢を軽度駆血し急速輸液と重炭酸溶液の急速輸液を行った。救命救急センター到着時(治療から30分後)には意識は改善しショック状態は離脱した。長時間挟まれた状態では高度な脱水状態と四肢の開放と同時に壊死物質が全身に周り不整脈から死に至るケースもあるため大量急速輸液が必要で、現場からの応急処置が一命を取り留めたと言える。

②カフェイン中毒例:

若者が市販のカフェイン製剤を購入し内服した。頻脈、興奮、不整脈、発汗と特異な症状を呈し本人からの聴取で判明した。カフェインの代謝自体は早く翌日には回復した。

一時期カフェイン中毒が蔓延し20例以上の中毒例の治療にあたった。摂取量や治療の遅れにより死に至るため注意が必要である。現在の若者に蔓延している「OD:オーバードーズ」が流行している原因物質の一つであると推測する。

③睡眠薬大量摂取からの心停止例:

心停止状態で搬送され蘇生しECMO(エクモ)にて循環維持していたが意識回復は見込めず看取りの方針となった。その方針を家族に告げるとこれまでの償いをしたい(患者さんは刑務所に何度か収容されている過去がある)と臓器提供の申し出があった。

意思を汲んで手配したが臓器の状態が健全ではなく願いを叶えられなかった。自身には大変印象の強い事例であった。

④ニコチン中毒例:

高濃度のニコチンを摂取し心停止に陥った。ERで蘇生でき循環は安定したが意識は回復せず結局脳死となった。本人の推定意思と家族の意思により臓器提供の申し出があり、脳死判断から臓器摘出までを経験した。

タバコの吸い殻を食べてしまったと小児搬送例が多いが、近年は電子タバコの普及により高濃度ニコチン溶液がインターネットで(諸外国から)購入できるためこのような激烈な中毒例が増加するのではないかと懸念している。

これから目指す救急医療について:

救急災害医療センターが開棟すると現在の5倍以上の規模となる。現在の当院ERは手狭で増加し続ける名古屋の救急医療の需要に、また当院に求められている救急医療の需要に十分に答えられていない状況である(精一杯応える努力はしているつもりである)。

新棟では十分対応できる規模となる。現在では、救急搬送された患者様はまず診察室のベッドで診察しその後画像検査(CT検査)を行い、診断・治療に繋げていく流れとなるが、新棟でのHybrid ER(治療と診断を同時に行える「hybrid」)ではその場でCT検査しながら手術・治療が可能となるため一刻を争う重症患者の治療に有利となる。

また全ての診察室で新型コロナウイルスなどの感染者の診療が可能な設備を整えている。現在とは質も量もスケールの異なる先進救急医療を行える設備となる。開棟は1年以上先であるが、それまでの変化(進化)としてはドクターカーの始動がある。ドクターカーは重症者の要請を受けた場合に医師が現場に救急車で駆けつけるシステムであり、待ちの医療から攻めの医療への進化が期待できる。

先進的でスケールの大きい救急医療を実践するには設備以上に人員と人材が不可欠である。夢を共有する救急医療を担う人材は増えつつあるが、まだまだ足りない状態である。当科の目標は「名市大だとこんなに早く処置できるんだ」「名市大だから救命できた」と言われるのが当たり前になることです。

数年後の理想の救急医療実現のために人材確保することが喫緊の課題です。

例会のご案内

■今 週 9月12日(木) R規定により休会

■次 週 9月19日(木) リスペクト例会

場 所: ヒルトン名古屋4F 「桜の間」

時 間: 12:30~13:30

■次々週 9月26日(木)

卓話者: 認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード

代表理事 栗田暢之様

場 所: ヒルトン名古屋4F 「桜の間」

時 間: 12:30~13:30